

「いわて牛」消費拡大へ

第35回枝肉共励会で チャンピオン牛が決定

令和6年度いわて牛の集い

令和7年1月20日(月)

岩手県といわて牛普及推進協議会は、1月20日、東京都品川区のホテルで「令和6年度いわて牛の集い」を開催しました。達増拓也岩手県知事や東京食肉市場関係者、買参関係者、県内生産者など約170名が出席し、達増知事は「今日のいわて牛の集いを契機に、一層岩手県のファンになっていただき、いわて牛

をはじめとする岩手の農畜産物をご愛顧いただくようお願いしたい」と話しました。
集いでは、いわて牛応援団長の天津木村さんが司会をつとめ、参加者全員で乾杯し、いわて牛を使った料理を堪能したほか、首都圏でのいわて牛の消費拡大にむけて生産者による産地PRもおこないました。



まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて



いわて牛の集いの様子



生産者による産地PRの様子(発表者:JAいわて平泉の千葉大さん)

第35回「いわて牛」枝肉共励会

令和7年1月21日(火)

翌日の1月21日には、いわて牛普及推進協議会が東京都港区にある中央卸売市場食肉市場で「第35回いわて牛枝肉共励会」を開催しました。共励会は、産地関係者及び首都圏「いわて牛」の評価向上を図るとともに、いわて牛普及推進協議会会員相互の肥育技術研鑽による生産意欲の高揚を目的に毎年開催されています。今回は67頭が出品され、それらの平均単価は当日市場平均単価より約140円高い結果となり、上物率(5等級・4等級率)が98.5%と素晴らしい成績の共励会となりました。



最優秀賞を受賞した株式会社浅倉農林の浅倉寛さん



表彰式では、JA江刺の株式会社浅倉農林の出品牛が最優秀賞に選ばれ、枝肉単価は5,003円と高値で販売されました。審査講評をつとめた日本食肉格付協会の田口関東支所長は、「歩留まり基準値の高さや枝肉の外観が非常に素晴らしく、肉質についても脂肪交雑はもちろんのこと、きめの細やかさ、迫力が非常に素晴らしいものがあつた。多くの審査員の支持を得て、最優秀賞に選出された」と講評しました。

チャンピオン牛お披露目会

令和7年2月10日(月)



チャンピオン牛がお披露目されました(右から達増知事、天津木村さん、株式会社浅倉農林の浅倉寛さん、長男・誠悟さん、JA全農いわて運営委員会の伊藤清孝会長)

さらに、2月10日には、岩手県盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡で「第35回『いわて牛』枝肉共励会チャンピオン牛お披露目会」を行いました。

お披露目会では、チャンピオン牛のステーキの試食がふるまわれ、株式会社浅倉農林の浅倉寛さんは「肉の旨みが濃く、脂はさっぱりとして、食感はとても柔らかい。牧草や大豆など奥州市産の飼料を与え、大

切に育てた成果が出ている」と話しました。

チャンピオン牛を使用したメニューは、2月11日〜28日まで、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング「対い鶴」「モン・フレール」および「みのるダイニング盛岡フェザン店」で提供されたほか、2月22日〜24日には、いわて生協各店舗(コープ高松店、西が丘店を除く)で精肉が販売されました。

◆ 県産ブランド米のおいしさ競う

令和7年1月23日(木)

食味コンテスト合同表彰式

1月23日、盛岡市内のホテルで「至福の味、金色の風」コンテスト、ならびに「銀河のしずく」頂上コンテスト(ともに岩手県主催)、岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」の合同表彰式が行われました。

コンテストは、生産者の意欲喚起、栽培技術の向上を目的に毎年開催されています。令和6年度は金色の風は26点、銀河のしずくは114点、ひとめぼれ(Hi-1グランプリ)は21点が出品され、食味分析や整粒の割合などの機器検査と専門家による食味審査を経て、それぞれの受賞者を決定しました。

各コンテストの上位入賞者は以下のとおりです。

◆ 令和6年度「至福の味、金色の風」コンテスト

- 1位 小野寺秀一さん(一関市)
- 2位 千葉昌浩さん(奥州市)
- 3位 渡邊克洋さん(一関市)、小野寺幸基さん(奥州市)、株式会社百姓(奥州市)

◆ 令和6年度「銀河のしずく」頂上コンテスト

- 1位 首藤三男さん(一関市)
- 2位 菊池信孝さん(奥州市)
- 3位 橋本幸志さん(二戸市)、高橋耕作さん(花巻市)、高橋光秋さん(奥州市)

◆ 令和6年度岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」

- 最優秀賞 JAいわて花巻(旧大迫地域)
- 優秀賞 JAいわて花巻(旧花巻地域)、JAいわて花巻(旧石鳥谷地域)、JA岩手ふるさと(旧前沢地域)、JAいわて平泉(旧一関地域)



岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」受賞者

◆ 先進技術の活用で農家手取り最大化へ

令和7年1月28日(火)

「農家手取り最大化プロジェクトセミナー」最終回

1月28日、盛岡市内のホテルで「令和6年度 農家手取り最大化プロジェクトセミナー」を開催しました。

このプロジェクトは、本会と県内各JAが岩手県と連携し、経営内容や課題に合わせた生産性向上、物財費削減、省力化などに貢献する技術をメニュー化して、モデル経営体(農家)で実証を行うもので、平成28年度から始まり、今年度で終了となります。最終回となる本セミナーには、プロジェクトに関わったモデル経営体や関係者などおよそ50人が参加しました。

基調講演では、地域の担い手不足・農地集積という課題に対する優良事例として、山形県の農業法人「株式会社山正」の瀬野雄平社長が登壇し、ドローンや自動操舵農機、栽培管理支援システムザルビオなどのスマート農業技術を導入した農業経営の取り組みを紹介しました。また、研修として今年度の取り組みと結果の報告、9年間に及ぶプロジェクトの総括なども行われ、参加したモデル経営体からも省力化技術へのさまざまな質問や実証結果の評価など活発な意見交換がなされました。

プロジェクトは終了しますが、今後も新たな形でスマート農業を含む様々な農業技術の実証を続け、農家の課題解決と収入アップを支援していきます。



基調講演の講師を務めた瀬野社長



プロジェクト実践メニューに関する活発な意見交換が行われました

◆ 農業高校の生徒が丹念に育てた牛、全国へ

令和7年1月16日(木)～17日(金)

第8回和牛甲子園

JA全農は、1月16日と17日の2日間、東京都中央卸売市場食肉市場で第8回和牛甲子園を開催しました。岩手県からは水沢農業高等学校、盛岡農業高等学校、花巻農業高等学校の3校が出場し、黒毛和種5頭が出品されました。

和牛甲子園出場牛出発式 令和7年1月14日(火)

大会に先立ち行われた出発式では、各校代表から「愛情を込めて育てたので販売後はおいしく食べてほしい」「これまで指導してくれた先生方や応援してくれた皆さんに感謝して出品したい」「大会後は、岩手の畜産を盛り上げる活動も行いたい」と力強く語り出しました。



出品牛をトラックに載せる生徒

和牛甲子園出品牛販売会 令和7年2月8日(土)

大会では惜しくも受賞を逃す結果となりましたが、生徒が丹精込めて育てた牛肉を岩手県内の消費者に味わってもらうため、株式会社いわちくでは、盛岡農業高等学校が出品した牛肉を購入し、2月8日に滝沢市の「いわて生協ベルフ牧野林店」で出品牛の販売会を実施しました。



客に呼び掛ける生徒たち

当日は生徒たちも店頭立ち、手塩にかけた牛肉を売り込みました。生徒たちは「いらっしやいませ」「私たちが育てた牛肉です」と買い物客に声を掛け、試食を促すなどして、元気いっぱい商品PRしました。

◆ 複合野球施設「King of the Hill」でいわて純情米PR

令和7年1月22日(水)

スポンサー契約調印式

本会は、1月22日、エンゼルスの菊池雄星投手がプロデュースした岩手県花巻市の複合野球施設「King of the Hill(K.O.H)」とスポンサー契約を結びました。

今回契約を締結したのは県内外の7企業・団体です。調印式はK.O.Hで行われ、菊池投手は「想い・ビジョンに共感いただき、ご支援いただくことに感謝の気持ちでいっぱい。この施設を通して、社会に必要とされる人材を育てていきたい」と話しました。

本会の高橋司県本部長は「田園風景の中に立派な施設を作っていただいたことに感謝する。施設を利用する岩手の子もたちが世界に羽ばたけるよう応援したい」と話しました。

K.O.Hは昨年11月にオープンした施設で、幼児から中学生まで100人以上が入会する野球スクールを開講しています。スポンサー企業は、スクールやイベント運営を支援していきます。



左から、合同会社K.O.Hの久野和禎代表、本会の高橋県本部長、菊池投手

3. 栽培管理支援システム「xarvio® FIELD MANAGER」

栽培管理支援システムでは、xarvio® FIELD MANAGER (以下ザルビオ)を推進しています。作物、品種、気象、人工衛星画像をAIで解析し、栽培管理をサポートするシステムで、水稻をはじめとした19品目に対応しています。衛星画像の解析による圃場の地力や生育マップを利用することで、地力ムラや生育ムラを確認し、基肥や追肥の可変施肥に活用できます。また、生育ステージ予測機能により、中干しや追肥、防除、収穫などの作業日を早い段階で計画することができます。

本会では、令和4年度からザルビオの地力・生育マップから可変施肥マップを作成し、水稻の可変施肥の試験を行っています。令和5年度は試験区で9%収量増となりましたが、令和6年度は雑草の繁茂等により収量を比較することができなかったため、引き続き改善策を検討していくこととしています。なお、現在、岩手県の有料ユーザー数は累計76経営体となり、利用面積は約1,658haとなっています。

ザルビオ生育マップと収量結果

【可変施肥区】

240702 生育マップ

ゾーン	LAI	面積(a)
ゾーン1	1.78	2.26
ゾーン2	1.67	3.81
ゾーン3	1.59	12.02
ゾーン4	1.50	4.51
ゾーン5	1.37	1.24
平均値 合計	1.59	23.84

変動係数(ばらつき)
: 5.8%



【均一施肥区】

240702 生育マップ

ゾーン	LAI	面積(a)
ゾーン1	1.63	5.35
ゾーン2	1.55	12.29
ゾーン3	1.47	8.47
ゾーン4	1.36	1.36
ゾーン5	1.20	1.76
平均値 合計	1.51	29.23

変動係数(ばらつき)
: 6.8%



生育マップの推移

- 6月下旬から7月下旬まで、LAI値*1のばらつきは可変施肥区の方が小さく推移した。
- ただし、雑草繁茂状態での評価一発除草剤を田植え同時で施用したが、その後漏水し、中後期剤を散布したが多くが残草した(ヒエ・ホタルイ)。

収量結果と考察

- 均一施肥区: 485kg/10a
- 可変施肥区: 479kg/10a (均一施肥区対比98.7%)
- 【考察】
- 減数分裂期まで可変施肥区のほうがNDVI値*2のばらつきが小さく、可変施肥により生育ムラが抑えられたと思われる。
- 残草により、やや低収となったほか、可変施肥が収量に与える効果は検証できなかった。また、追肥の増収効果も検証できなかった。
- 【生産者感想】
- 残草により収量はもっと落ちると思ったが追肥の効果を感じた。

*1 LAI値 値が大きいほど、葉が多いことを示す。ばらつきが小さいほど、均一に生育していると推測できる。
*2 NDVI値 色や光の反射で得られる計測値を計算した値で、作物の生育状況が推測できる。

4. V-NeKhs仮想基地局

自動操舵等のスマート農業機器の導入を推進するために、ネットワーク型RTK方式の一種であるV-NeKhsの仮想基地局を県内10か所に設置しサービス提供しています。国土院の電子基準点を基に位置測位情報をインターネット経由で受信するもので、これにより自動操舵の作業精度も2~3cm以内となります。特徴として、既存のRTK-GPS基地局と比較して中山間地域でも地形や障害物に左右されることがなく利用することができます。本会での利用申込みは県内で年1件程度(累計6件)に留まっていますが、今後も普及拡大に向けて組合員・JAへの情報提供を継続してまいります。

5. おわりに

これら以外にも水田水位センサーやスマート自動給水機、ハウスファーム等を経営体およびJAへ推進しています。引き続き、本会ではJAと連携し、新たな生産技術の実証や優良な実践メニューの普及拡大に取組み、生産者の所得向上を目指してまいります。



INTRODUCTION

営農支援部

スマート農業の取り組みについて

1. はじめに

営農支援部では、「手取り最大化重点実践メニュー」の水平展開および導入経営体へのフォローを通じ、スマート農業における各種技術の実装推進をすすめています。主要3メニューのサービス開始と導入状況は右表のとおりです。

■スマート農業メニューのサービス開始年度と利用者数(累計)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
■Z-GIS	▶2018年サービス開始						131 経営体
■ザルビオ				▶2021年サービス開始			76 経営体
■V-NeKhs				▶2021年サービス開始			6 経営体

2. 圃場管理システム「Z-GIS」

スマート農業のメニューとして、圃場管理システム「Z-GIS」を2018年から推進しています。「Z-GIS」とは、JA全農が開発した圃場管理を効率化するクラウド型の営農システムで、現在、利用経営体は累計131経営体となり、利用面積(推定)は8,183haとなっています。

利用者は水稻作が中心ですが、麦、大豆のほかにも園芸、果樹、牧草地と多岐にわたって利用されています。県内の面積(田耕作)の92,700haから見ると、約9%の面積で利用されていることになります。

岩手県内の事例

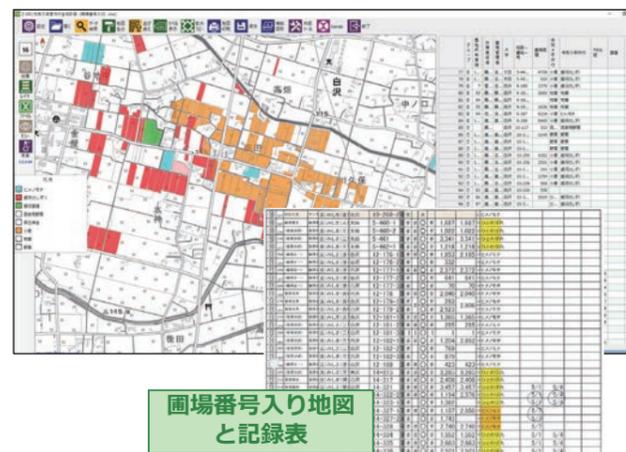
○活用事例 法人A

◆Z-GIS導入前

- 紙の白地図上の細かい地番を虫眼鏡で見つけて探していた。
- 作業員は圃場地番までは把握できていないので、圃場ごとの作業実施日などは管理できていなかった。

◆Z-GIS導入後

- 地番や地権者をキーに圃場を探しやすくなった。
- 元々Excelで作成していた作付計画と地図が連動し、どこに何を作付けしているかの見える化が出来た。
- 次世代の組合員が作業記録入力を担当することで、法人運営に対する意識醸成を図っている。



圃場番号入り地図と記録表

《生産者の声》

- 当初はシステムの必要性を疑問視する組合員もいたが、実際に使ってみることで便利さが伝わり、理解を得られるようになった。
- 印刷地図と作業記録表の組み合わせにより、圃場ごとの作業日を管理する仕組みづくりをしている。運用に課題はあるが、作業効率化や適期作業の計画に繋がりたい。

「農産物検査員」の資格取得にチャレンジしませんか!



米穀部
米穀対策課
菊池 輝光



藩政(江戸)時代、年貢米は庄屋宅で米俵一俵ずつ丹念に検閲、米が乾燥不足だと保存時に腐るため噛み砕いて乾燥状態を確認。粉砕、砕けた米、くず米などの割合を目視で確認してました。明治6年に年貢米制度が廃止され、米の品質包装が悪化し市場の信用が失墜したため、明治31年同業組合による県域単位での検査が始まりました。規格検査方法が不統一で信頼性確保が困難だったため、明治34年に公正な規格検査とするべく大分県で県営検査が始まり、昭和9年東京府(当時)・山梨県を最後に全府県へと拡大されました。

昭和17年「食糧管理法」に基づき国営検査に移行、昭和26年「農産物検査法」により全国統一規格となり、公正かつ円滑な取引のための「商品検査」として再構築されました。平成18年には完全民間化され、各J A等登録検査機関による検査が行われています。

「農産物検査制度」は、米・麦・大豆等の取引に当たり全国統一的な規格に基づく等級付けにより、現物を確認することなく大量・広域に流通させることが可能となりました。「農産物検査員(以下、「検査員」)」は、受検者との個人的な関係等に左右されず、農協等業務の指揮命令等とは独立し、法令等に基づいて「公正かつ誠実」にその職務を遂行しています。検査員

検査員の検査鑑定技術の維持・向上については、各J A等登録機関による取り組みが重要ですが、本会米穀対策課が事務局の「岩手県J A農産物検査協議会」(以下、「協議会」)では、統一的研修会や程度統一会等を各J A等登録機関と連携し鑑定精度向上に努めています。毎年12月頃「岩手県農産物鑑定会」を開催し、上位3名を全国農産物鑑定会に推薦しています。7月頃に全検査員対象の「検査技能確認会」を行うほか、検査員からの照会に常時対応する等、年間を通じ鑑定技術向上のため活動しています。

新たな検査員を育成するため「検査員育成研修(基礎課程)」を毎年実施しており、令和7年5月27日から毎週火曜～木曜の17日間(7月2日まで)実施します。筆記試験と実技試験があり8割正解で合格ですが、「安心」してください、懇切丁寧な指導で必ず合格へと導きます。各J Aの検査場所12日間の現場実習課程(米・麦・大豆・そば)を修了した後「検査員登録」されます。J A職員だけでなく農家の方も多数受講されていて、19年間で401名全員が合格しています。副業にもつながる「検査員資格」にご興味ある方は、協議会・各J Aの農産物検査担当へお問い合わせください。



検査員育成研修

いわて純情むすめ 料理体験記

orders 7

ソースいらずの“しっかりした味”がごはんにもパンにも合う「ミラノ風カツレツ」



材料(2人分)

- 牛もも肉…2枚(1枚約80g)
- 卵…1個
- パルメザンチーズ…大さじ4
- オリーブオイル…大さじ1
- 塩…適量 ●コショウ…適量
- パン粉(細かくしたもの)…40~60g
- サラダオイル…適量
- バター…5g
- レモン…くし形にカット
- 付け合わせの野菜(お好みの野菜)…適量

作り方

- ①パン粉が粗い場合はビニール袋に入れ、麺棒で叩いて細かくしておく(フードプロセッサーを使うと便利)。
- ②肉は包丁で筋を切ってから麺棒で叩いて薄く伸ばした後、麺棒を軽く転がして厚さを均一にする。
- ③②に軽く塩・コショウをし、①のパン粉をつける。
- ④ボウルに卵、パルメザンチーズ、オリーブオイル、塩を混ぜ合わせて「卵液」を作る。
- ⑤③の肉を④の卵液にくぐらせてから、もう一度パン粉をつけて、よく押さえてパン粉を落ち着かせる。
- ⑥フライパンにサラダオイルを1cmほど入れて熱したら、⑤の肉を入れて揚げる。
- ⑦⑥が色よく揚がったら、フライパンから取り出して揚げ油を切る。
- ⑧きれいなフライパンにバターを溶かし、⑦の肉を入れてバターを両面に塗る。
- ⑨皿に⑧を盛り、付け合わせの生野菜と、くし形にカットしたレモンを添え、レモンをたっぷり搾って召し上がれ!



いわて純情むすめ「料理体験!」感想

- 口に入れた途端、香ばしいバターとほんのりチーズの風味がしました。おしゃれな味ですね。(新井田)
- バターとチーズの風味が決め手の「イタリア定番料理」が、このカツレツなんですね。(桐明)
- チーズ入りの衣で味がしっかりしているので、ソースなしで食べられますね。(新井田)
- レモンの爽やかさのせいか、牛肉のカツなのに全然くどなくて、肉とレモンと野菜の相性がバッチリです!(桐明)
- 豚肉のカツと違って、牛肉の赤身の旨味がよく分かって、とても美味しいです。(新井田)
- 付け合わせの野菜は、ドレッシングをかけても合いますよね。(桐明)

料理監修



オーナー/佐々木朋美

紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199
くるみアパートメント1F TEL 019-681-7337
Mail tom1123tom@icloud.com
https://tom-creperie-deli.com

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地だより

中京・関西エリアにおけるお米の販売状況について

大阪の3月は、冬から春へと変わる季節で早い年には3月中旬から桜の開花が始まり、本格的な春を迎える時期になります。また、今年4月13日から大阪・関西万博が開催されます。春の始まりと共に国内外から多くの方が関西を訪れ、より一層の賑わいが期待されます。

さて、令和2年に新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから需要動向は毎年大きく変化しています。外出自粛により一時期は需要の減退もありましたが、令和4年以降は外出自粛が緩和されたことで、インバウンド需要と外食産業が復活し、需要回復が見られてきました。

直近では昨年8月頃から「令和の米騒動」と呼ばれるほど店頭棚からお米がなくなる事態も発生しましたが、現在では主産地の令和6年産米が出回ったことでおちつきが見られます。

この様に販売環境が大きく変化している中ですが、中京・関西エリアの量販店では北海道から九州まで全国各地のお米が売り場に並びます。販売価格は産地や銘柄によっても様々ですが、5kg精米で平均3,500円〜3,800円(税別)と昨年同時期と比較すると1,000円以上の値上がりとなっています。

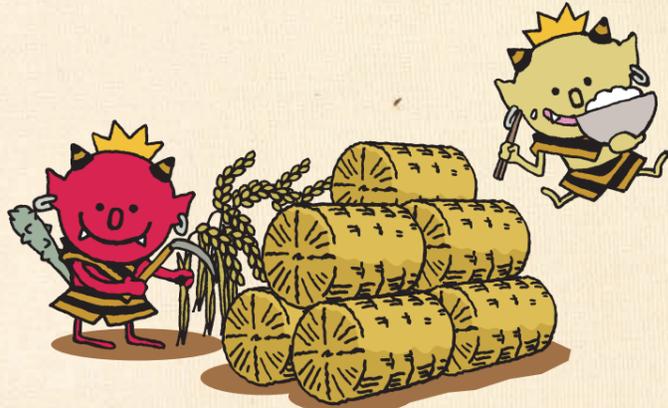
多くの産地の中でも、「いわて純



米穀販売センター 橋本 遼

情米」は各販売先およびお客様から品質・食味で高い評価をいただいておりますが、今年度も、「いわて純情米」の認知度向上のために販促活動を実施しております。

今後、生産者の皆様が一生懸命育てた「いわて純情米」をより一層ご愛顧いただけるよう、そして、皆様が安心して米づくりを専念できるような販売体制を構築してまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



イオン具志川店キャンペーン



南大阪米穀販売応援キャンペーン

純情人

- 趣味・特技
小学生のころから山に登るのが好きで、その延長で山菜をとることが趣味になりました。春はタラの芽を、秋は松茸をとるのが個人的年間行事です。
- 現在の担当業務
市場での窓口業務が主で、市場以外では経理を行っています。市場では現金が大きく動くので、お金に触るのは今でもドキドキです。
- これからどんな職員になってみたいか
畜産関係を幅広く扱える職員になりたいです。畜産動物が生まれて、成長して、畜産物として消費されるまでの、どこに関わっても困らないでやっていけるような経験や知識を身につけられるように頑張ります。
- その他アピールポイント
地元の普代村は人より動物のほうが出会う機会が多い、自然豊かでのどかな地域です！コンビニはありませんが海はあります！三陸道を通るついでに寄っててもらえると嬉しいです。
- 趣味・特技
休日はサッカー観戦やコーヒー焙煎を楽しんでいます。特技はコーヒーを飲んで産地や精製方法を5割くらいの精度で当てられることです。
- 現在の担当業務
加工業務用野菜の販売担当、野菜制度や残留農薬検査の対応、販促資材管理、園芸実績作成などを行っています。
- これからどんな職員になってみたいか
岩手のことをもっと深く理解し、生産者にも消費者にも世間にも存在価値のあるような三方よしの考えをもった職員になっていきたいです。



畜産酪農部 家畜市場課 榎谷 美麗さん



園芸部 生産販売課 阿部 広輝さん

いわて純情むすめ

活動報告



タイ輸出宣伝販売会

令和7年1月24日(金)～26日(日)

タイ王国バンコク市内のUFMフジスーパー4店舗で行われたりんごと牛肉の宣伝販売会に瀧澤せりなさんが参加しました。

販売会では、瀧澤さんがタイ語で試食の声掛けに挑戦し、現地のお客様との交流を図りました。また、瀧澤さんとJAいわて中央営農販売部の横澤勤部長が岩手県の伝統的な盆踊りであるさんさ踊りを披露すると、一目見ようと、店内は多くの人で賑いました。



第19回JAグループ国産農畜産物商談会

令和7年1月30日(木)～31日(金)

東京都港区で開催された第19回JAグループ国産農畜産物商談会に大久保佳奏さん、加美山結葉さん、桐明未唯沙さんが参加しました。

商談会は国産農畜産物とその加工品の販売チャネル拡大を目的として開催され、19回目となる今回は「日本全国 美味の旅～JAグループが贈る特別な逸品」をテーマに、全国からJAや農業団体が出展し、こだわりの地域産品を紹介しました。



野焼き・火入れに注意!!



～ふるさとの 山を守ろう 火の手から～

- 令和6年は**33件**の山火事が発生し、**約6割が3～5月に集中**していました。
- 令和6年は**野焼き・火入れ**を原因とする山火事が**約7割**を占めていました。
- 大切な森林を山火事から守るために、野外での火の取り扱いには十分注意しましょう。



令和6年4月に宮古市で発生した山火事

火入れ

森林又はその周囲1kmの範囲内で立木竹、雑草、堆積物等を面的に焼却する行為で、**市町村長の許可が必要!**

火入れ許可の対象(森林法第21条)

- ◆ 造林のための地ごしらえ・開墾準備のため
- ◆ 害虫駆除・焼畑・牧草の改良のため

野焼き

枯れ草や廃棄物を焼却する行為で、**原則禁止!**

(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2)

例外として

- ◆ 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却
 - ◆ たき火、その他日常生活を営む上で通常行われる焼却で軽微なもの
- 市町村等の条例により、行為前に消防署への「火災とまぎらわしい発煙の届け出」が必要

令和6年に山火事が発生した市町村

- 発生件数：33件(前年比5件増)
- 被害面積：199.65ha(前年比195.56ha増)



編集後記

もうすぐ入会して2年が経ちます。この2年間、広報誌「クララ」を担当させていただき、多くの方々の支えがあり、発行を続けることができました。本当にありがとうございました！
来年度は「純情産地いわて」をみなさまにさらに知っていただくための新コーナーがスタートします。どうぞお楽しみに！ (西川)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。